

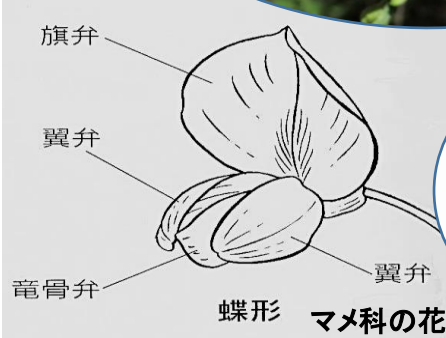


ヤマハギ(山萩)

あき ななくさ うた
秋の七種の歌 山上臣憶良 万葉集巻8-1537-1538

あき の さ はな およびお かざ ななくさ はな
秋の野に咲きたる花を指折り かき数ふれば七種の花

はぎ はな おばな くずはな なでしこ はな おみなえし ふじぼかま あさがお はな
萩の花 尾花 葛花 撫子花 女郎花 また藤袴 朝顔の花



蝶形 マメ科の花

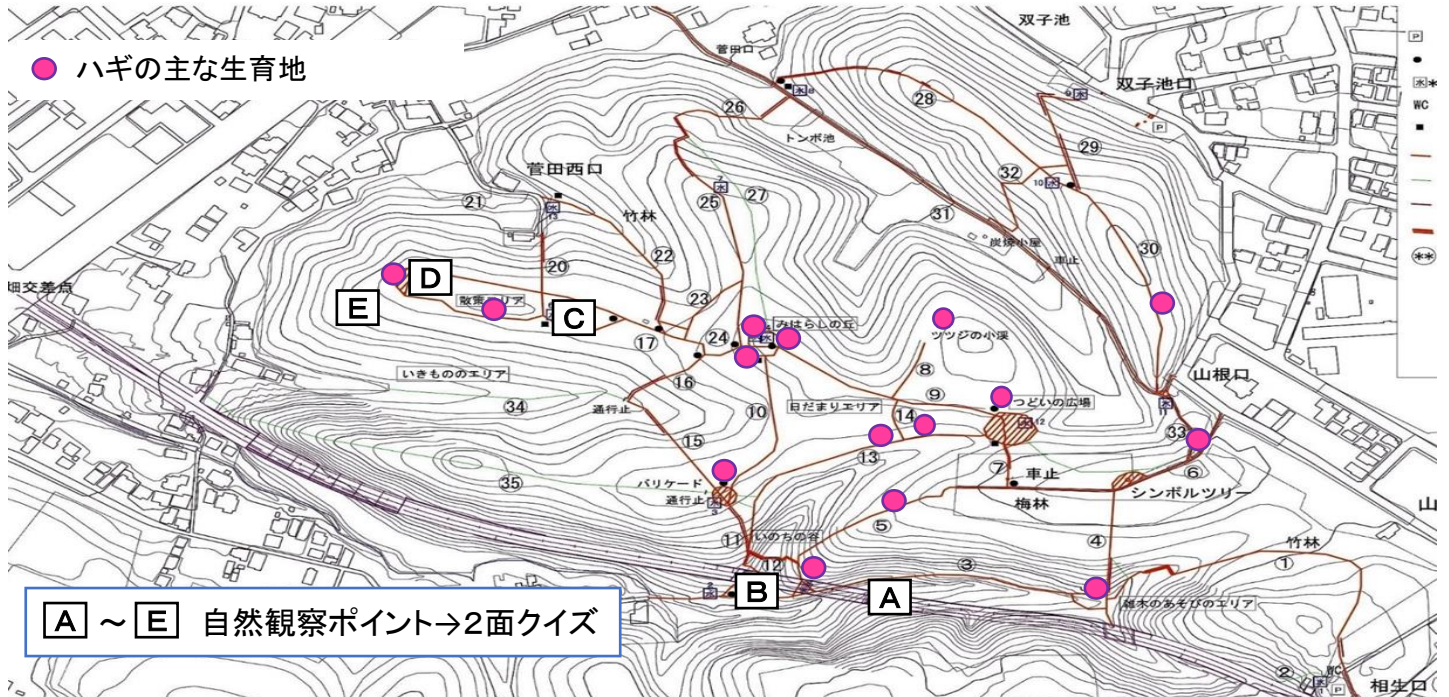


クズ(葛)



オオスズメバチ(大雀蜂)

私たちは彼らの餌ではありません。
私たちは彼らの敵でもありません。
もともと森は彼らの住み家です。
忘れないでください、彼らも私たちも
おのおの 自然の一部です。



● ハギの主な生育地

[A] ~ [E] 自然観察ポイント→2面クイズ

ハギ(マメ科、ヤマハギ属・ヌスビトハギ属)の比較

共通 : 3出複葉, 葉腋から総状花序, 蝶形花, 豆果(裂開しない)

No.	標準和名	漢字表記	樹形	葉	葉/表	葉/ウラ	花期	花色	特記
1	ヤマハギ	山萩	高さ1~2m	先端丸い	中央わずか毛	伏毛	7~9月	紅紫	花序が葉より長い 萼辺先:丸~鈍
2	マルバハギ	丸葉萩	高さ1~2m	先端凹む	無毛	伏毛密生	8~10月	紫紅	花序が葉より短い 萼辺先:鋭
3	ツクシハギ	筑紫萩	高さ2~4m	変異あり	無毛	伏毛まばら	8~10月	淡紅紫+白	竜骨弁基部白→花色淡 萼辺先:丸~鈍
※4	アレチヌスビトハギ	荒地盗人萩	高さ1m	細く先端丸い	伏毛密生	伏毛密生	7~9月	青紫	5~6小節果 マジックテープ式くつき虫
※5	ヌスビトハギ	盗人萩	高さ0.6~1.2m	先端尖る	ごわごわ	まばら	7~9月	淡江	花序が大きく分岐 2小節果 固有種

歩いていて
ドングリのついた
コナラ(小楡)の枝が
落ちていたら
仰いでください
ハイロチョッキリ
のお母さんの心が
見えるかもしれない



次回は 10月11日(日) 9:30
～ 秋の虫たち 顔ぶれ拝見～
木の実や 早い紅葉も 要チェック

連絡先(古川)

tell/fax: 052-821-6463

ケイタイ: 080-5124-6463

e-mail: viva_forest@yahoo.co.jp

ホームページ: ヲブリーアース → 検索

ブログ: 相生山からのメッセージ

クイズです！ 相生山の樹林で
「荒れている」のは どこでしょう ??



B



A



C



D



E

環境カウンセラー 高岡立明
「森の手入れ」より自然の再生を
より抜粋

ところで、「自然が荒れる」と表現してあるのを目にすることがあります。荒れるという言葉はどんな意味があるのでしょうか。辞典は大きく分けて二つの意味があると言っているようです。

- A 穏やかな、または整った状態が失われて乱れる
- B 傷み、損なわれて、だめになる

自然は放置すると、植物は遷移をはじめ、遷移した植生と馴染みが深い動物たちが生息を始めます。これは自然の穏やかで当然の成り行きで「荒れる」と表現するものではないと思います。

例えば、人為的に「木を切り倒す、掘返す、枝を切る」などは「自然を荒らす」と言えるので、「二次林の伐採を続けると森が荒れる」と言えるかもしれません。

また、自然の中に他所から竹などを持ち込んで、その後竹がはびこった場合は「人によって竹が持ち込まれ、整った状態の自然が変化した」という意味で、「荒れる」と言えるかもしれません。

檜や杉の人工林は、ある意味では木の畑です。だから、手を入れて管理をし続けないと荒れます。「手を入れないと森が荒れる」という表現で、的を射ているのは主に杉・檜の人工林のことで、間伐手遅れ林が今では大きな問題になっています。

二次林を萌芽更新して人工林として管理していたなら、これは人工的なものですから、放置した場合「荒れる」という表現はできます。しかし日本ではこうした例はごく一部分で、愛知県ではほとんどなかったことから、やはり一般的には使うべきではないと思います。

「里山が荒れる」という表現は、畑・田・家・道路など人工的に整備されていたものが壊れてゆくのは「荒れる」と言ってもいいのですが、森の部分は当たりません。むしろ人工のものも含めて、里山全体は《自然が戻ってくる》と表現できるものです。

私は「里山が荒れること＝常緑広葉樹が復活する」というような表現を何回か読んできました。そのたびに、その作者の国語力と自然に対する知識にいつも戸惑いを感じてしまいます。
(全文はラプリーアースのホームページに掲載)